

2016年3月期 第1四半期決算  
決算説明会

株式会社 **トクヤマ**

2015年7月31日



# CONTENTS

- 1 2016年3月期 第1四半期決算
- 2 2016年3月期 業績予想修正
- 3 中期経営計画2017
- 4 補足資料

# 1 2016年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高  
／営業利益

# 1. 決算概要

## 連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)  
(億円)

	2015年 3月期 第1四半期	2016年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	712	737	+25	+4
営業利益	55	29	△26	△47
経常利益	45	14	△30	△67
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	0	△35	△98
1株当たり当期純利益(円)	10.28	0.17		
為替(円/\$)	102	121		
国産ナフサ価格 (円/kg)	69,900	48,800		

### 定性情報(前年同期比)

(売上高) 737億円(4%増)

増収要因: ソーダ灰、塩化カルシウム、太陽電池用多結晶シリコンなどの販売数量増、

減収要因: セメントの販売数量減、

国産ナフサ価格下落に伴う石化製品の販売価格軟化

(営業利益) 29億円(47%減)

増益要因: 国産ナフサ価格下落に伴う原料コストの減少

減益要因: セメントの販売数量減、トクヤママレーシアの減価償却費増

# 1. 決算概要

連 結（前年同期比）

（億円）

	2015年 3月期 第1四半期	2016年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	712	737	+25	+4
営業利益	55	29	△26	△47
経常利益	45	14	△30	△67
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	0	△35	△98
1株当たり当期純利益(円)	10.28	0.17		
為替(円/\$)	102	121		
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	69,900	48,800		

## 定性情報(前年同期比)

(経常利益) 14億円(67%減)

減益要因: 営業利益の減少、トクヤママレーシアでの試作費用計上

(親会社株主に帰属する当期純利益) 0億円(98%減)

減益要因: 経常利益の減少、税金費用の増加

# 1. 決算概要

## 連 結（前期末比）

（億円）

	2015年 3月末	2015年 6月末	増 減
総資産	5,545	5,486	△58
自己資本	1,625	1,644	+18
自己資本比率	29.3%	30.0%	+0.7ポイント
有利子負債	2,831	2,786	△45
D/Eレシオ	1.74	1.69	△0.05
ネットD/Eレシオ*	1.03	1.00	△0.03
1株当たり純資産（円）	467.36	472.78	

### 定性情報（前期末比）

（総資産）

減少項目： 受取手形・売掛金等の減少

（自己資本）

増加項目： その他有価証券評価差額金の増加

（有利子負債）

減少項目： 長期借入金・1年内返済予定の長期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少

\*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

## 2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2015年3月期 第1四半期		2016年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	226	12	228	14	+1	+1	+2	+17
特殊品	111	9	130	△15	+19	+17	△25	-
セメント	193	14	204	9	+10	+5	△5	△36
ライフアメニティー	140	11	142	17	+2	+2	+5	+44
その他	128	15	129	10	+0	+1	△5	△33
計	801	65	836	36	+35	+4	△28	△44
セグメント間消去・ 全社費用	△88	△9	△98	△7	△9	-	+1	-
連結決算	712	55	737	29	+25	+4	△26	△47

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(参考)

トクヤママレーシア	-	△2	18	△31	+18	-	△28	-
-----------	---	----	----	-----	-----	---	-----	---

## **2** 2016年3月期 業績予想修正

- 1. 業績予想修正**
- 2. セグメント別業績予想修正**





# 1. 業績予想修正 連結（前回予想比）

(億円)

	2016年3月期 予想(4/30公表)	2016年 3月期 予想(7/31修正)	増減
売上高	3,120	3,090	△30
営業利益	210	180	△30
経常利益	140	120	△20
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	60	△20

2016年3月期 第1四半期
737
29
14
0

1株当たり当期純利益(円)	23.00	17.25
為替(円/\$)	115	124
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	46,000	50,900

0.17
121
48,800

## 修正の理由

(営業利益)

減益要因: 太陽電池向け多結晶シリコンの販売価格下落  
トクヤママレーシアの稼働率の下振れ

(経常利益)

減益要因: 営業利益の減少

(当期純利益)

減益要因: 経常利益の減少

## 2. セグメント別業績予想修正 (前回予想比)

(億円)

	2016年3月期予想 (4/30公表)		2016年3月期予想 (7/31修正)		増 減		2016年3月期 第1四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	870	60	900	60	+30	0	228	14
特殊品	660	10	650	△10	△10	△20	130	△15
セメント	860	70	810	55	△50	△15	204	9
ライフアメニティー	580	55	580	60	0	+5	142	17
その他	560	40	550	45	△10	+5	129	10
計	3,530	235	3,490	210	△40	△25	836	36
セグメント間 消去・全社費用	△410	△25	△400	△30	+10	△5	△98	△7
連結決算	3,120	210	3,090	180	△30	△30	737	29

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(参考)

トクヤママレーシア	129	△81	96	△112	△32	△30	18	△31
-----------	-----	-----	----	------	-----	-----	----	-----

## **③ 中期経営計画2017**

- 1. 計画の概要**
- 2. 事業収益力の強化**
- 3. トクヤママレーシアの黒字化**
- 4. 財務基盤の再建**



# 1. 計画の概要

## 中期経営計画2017の基本方針

顧客起点を旨とする「事業収益力の強化」、  
「トクヤママレーシアの黒字化」、  
「財務基盤の再建」を達成し、  
トクヤマグループ再生の礎とする

期間： 2015年度～2017年度  
(2015年4月1日～2018年3月31日)

# 1. 計画の概要

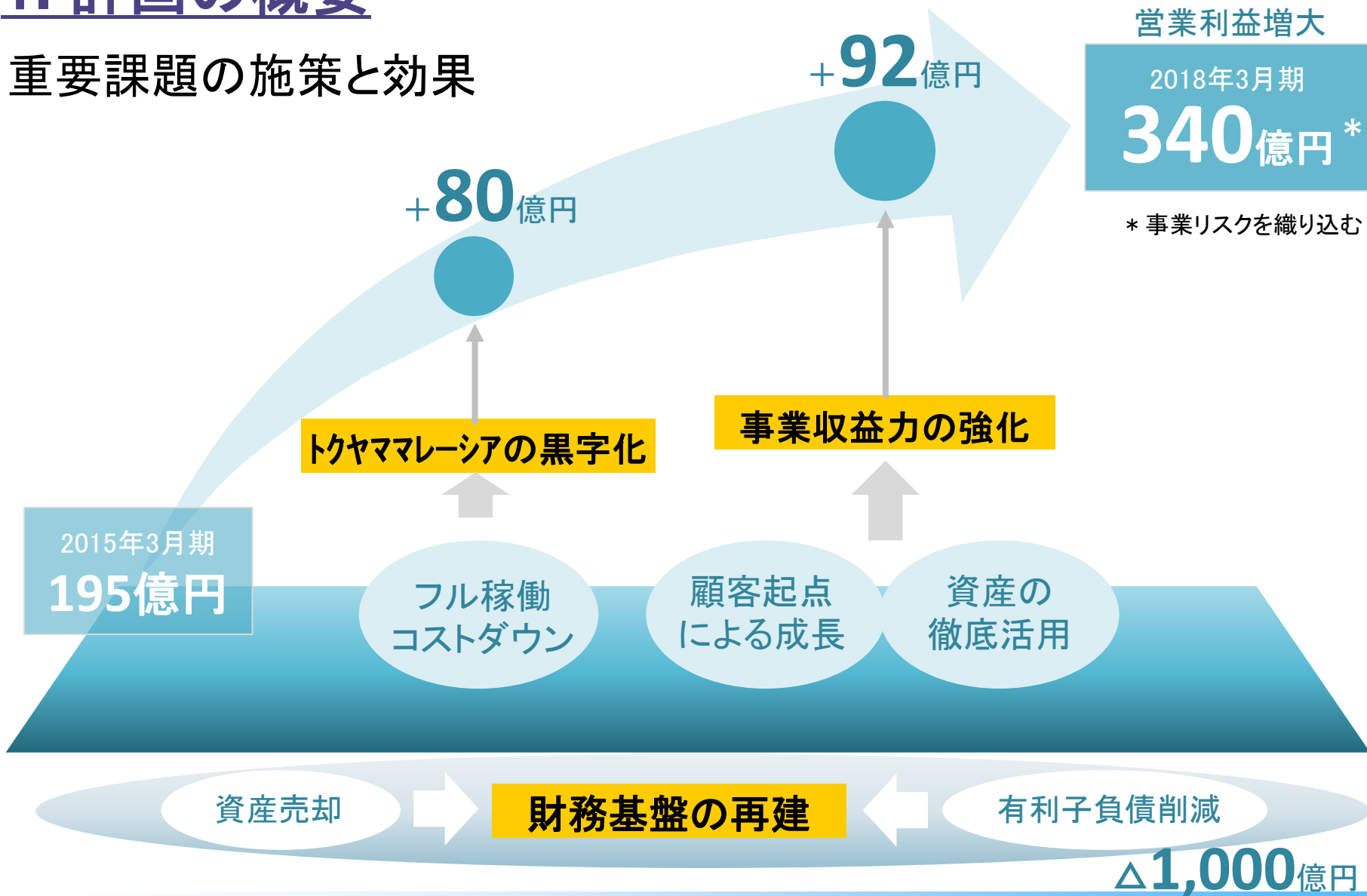
## 経営指標(連結)

	2015年3月期実績	2018年3月期計画
売上高	3,020億円	<b>3,350</b> 億円
営業利益	195億円	<b>340</b> 億円
営業利益率	6.5%	<b>10</b> %
有利子負債残高	2,831億円	<b>1,800</b> 億円

為替(円/\$)	110	115
国産ナフサ(円/kℓ)	63,500	46,000

# 1. 計画の概要

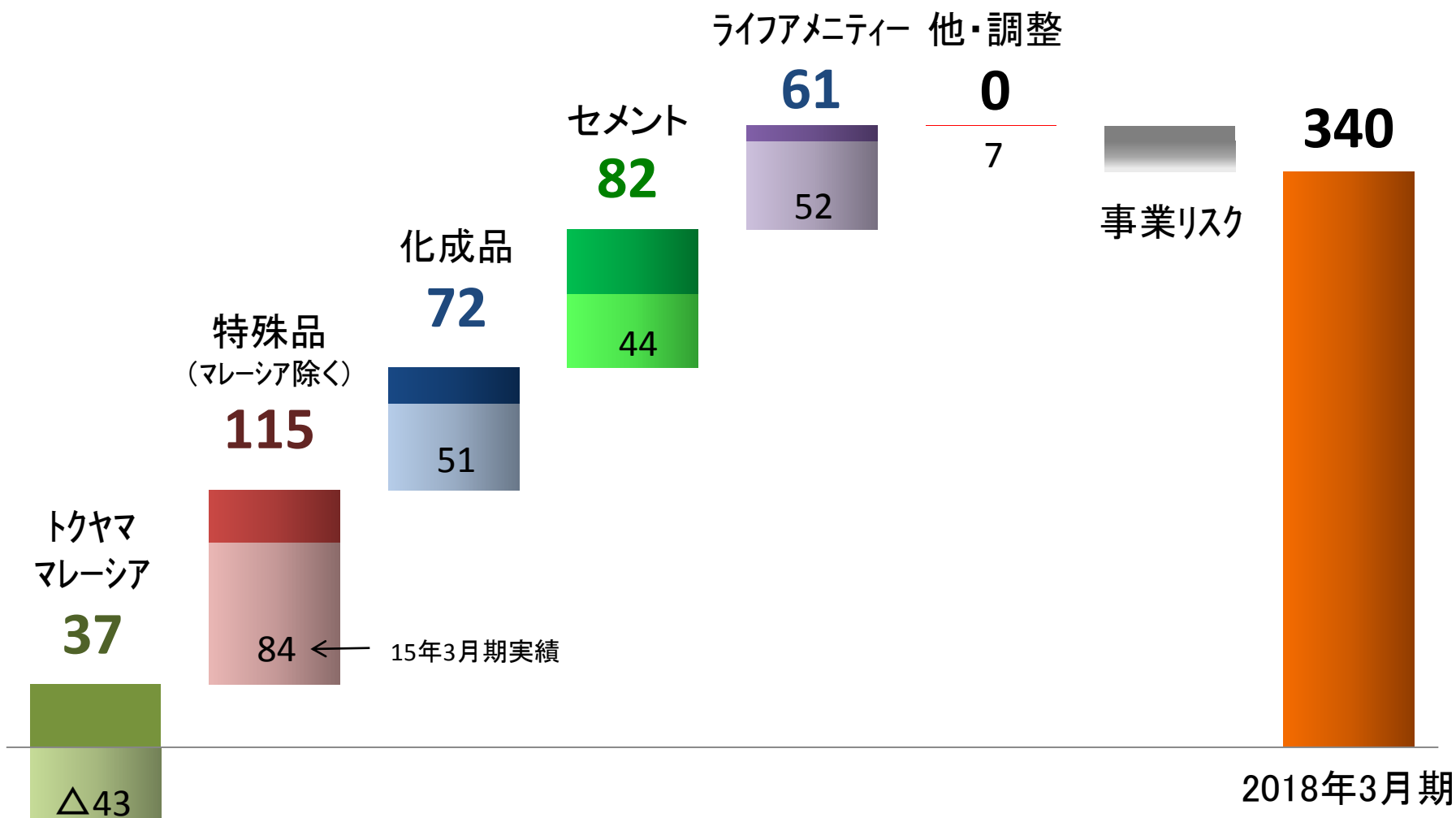
## 重要課題の施策と効果



# 1. 計画の概要

## セグメント別営業利益(2018年3月期計画)

(億円)



## 2. 事業収益力の強化

### (1) 資産の徹底活用

#### 徳山製造所の強化

##### 強みを持つ資産の 徹底活用・強化

- 半導体用多結晶シリコン増産
- セメントキルン再稼働

研究開発戦略の転換  
(事業戦略と整合した開発)

- 港湾インフラの活用
- 物流最適化
- 設備技術の強化

##### 強みを伸ばす 合理化・再構築

- 塩ビ樹脂事業集約
- ソーダ灰・塩カル事業  
統合効果促進

本社間接部門のスリム化

貴重・希少・既存を活かす



## 2. 事業収益力の強化

### (2) 顧客起点による成長

模倣・代替を許さないコア技術



#### 環境

廃石膏ボードリサイクル事業  
社会インフラ補修材料  
液化水素事業

#### ヘルスケア

微多孔質フィルム  
新規小型ガスセンサ  
歯科材料  
医薬品原薬  
メガネレンズ用フォトクロミック材料

#### 省エネ

高機能乾式シリカ  
新規放熱材料  
樹脂サッシ

事業にコミットした研究開発






# 3. トクヤママレーシアの黒字化

## 計画値

(億円)

		15/3	16/3(予想)	18/3(計画)
トクヤママレーシア 単体	売上高	43	96	260
	営業利益	△43	△112	37

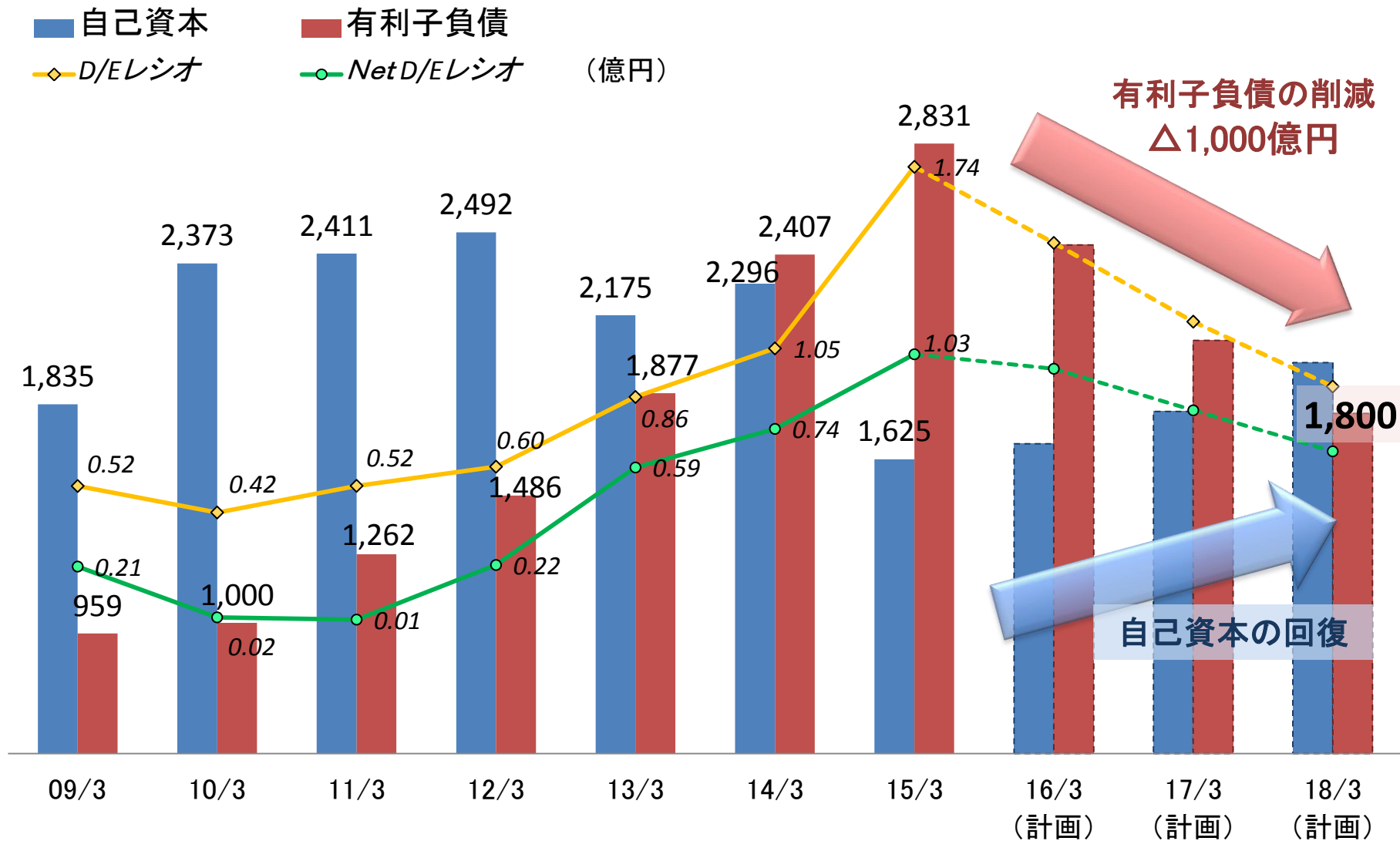
## スケジュール

		2015年度(16/3)	2016年度(17/3)	2017年度(18/3)
 <p>トクヤママレーシア (太陽電池向け多結晶シリコン)</p>	P S 1	 有効活用策を検討		
	P S 2	 15年10月～定修、 フル生産体制確立	 コストダウンを実施 単月黒字化達成	 通期黒字化 達成

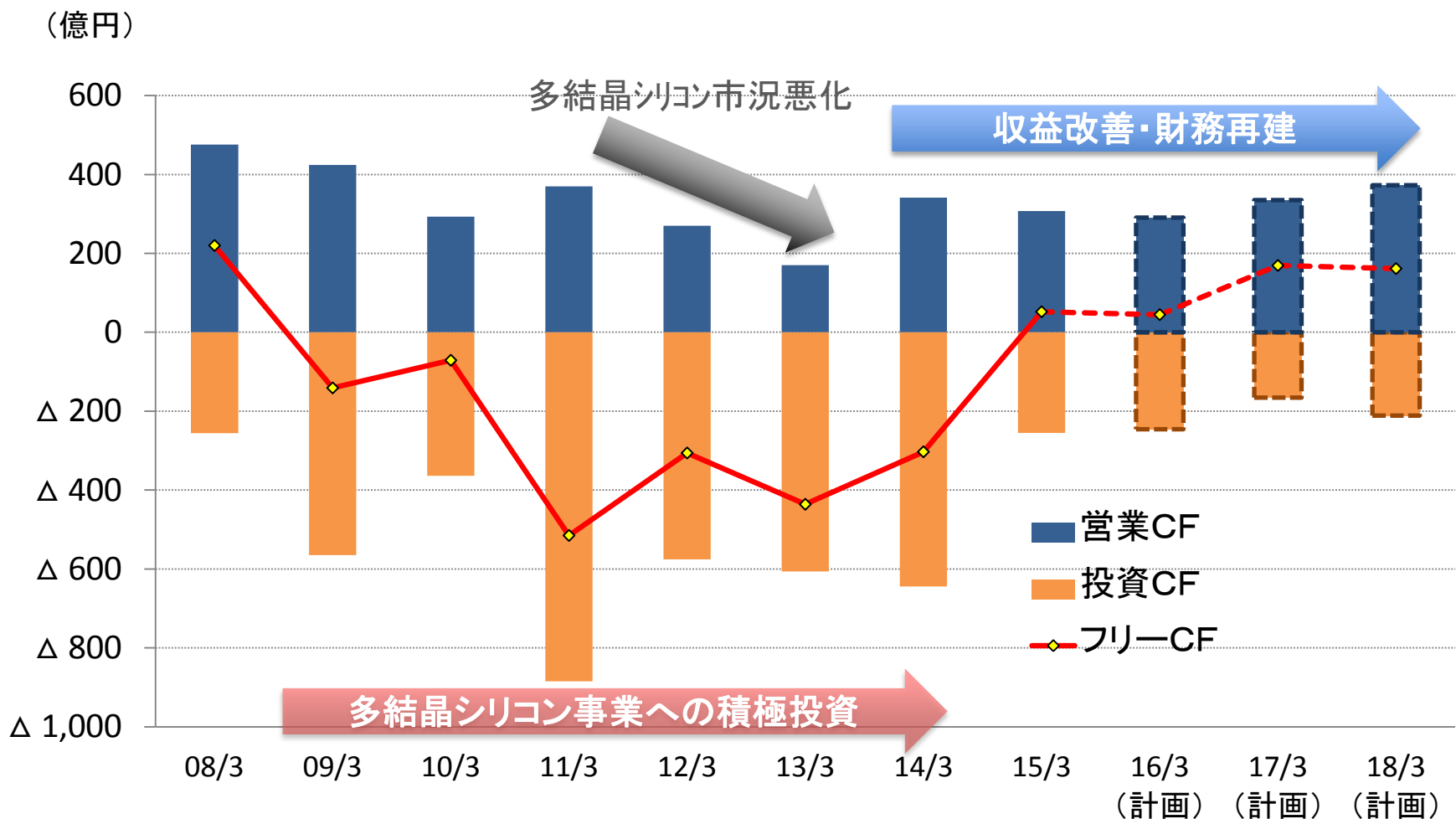
# 4. 財務基盤の再建

## (1) 財務再建計画

( 連 結 )



# 4. 財務基盤の再建 (2) キャッシュ・フロー計画 ( 連 結 )



設備投資(キャッシュ・フローベース)	250	150	200
減価償却費	230	230	230

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**



## 4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 営業利益増減分析
3. セグメント別売上高/営業利益
4. 業績推移
5. 業績予想修正(上期・下期)
6. 多結晶シリコン市場動向
7. 太陽電池市場動向
8. 経営計画の変遷

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 損益計算書

(億円)

	2015年 3月期 第1四半期	2016年 3月期 第1四半期	増減	
			金額	%
売上高	712	737	+25	+4
売上原価	501	553	+52	+10
販管費	154	154	△0	△0
営業利益	55	29	△26	△47
営業外損益	△10	△14	△4	-
経常利益	45	14	△30	△67
特別損益	△0	+0	+0	-
税前当期純利益	45	14	△30	△67
法人税等	9	14	+4	+47
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	0	△35	△98

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 貸借対照表

(億円)

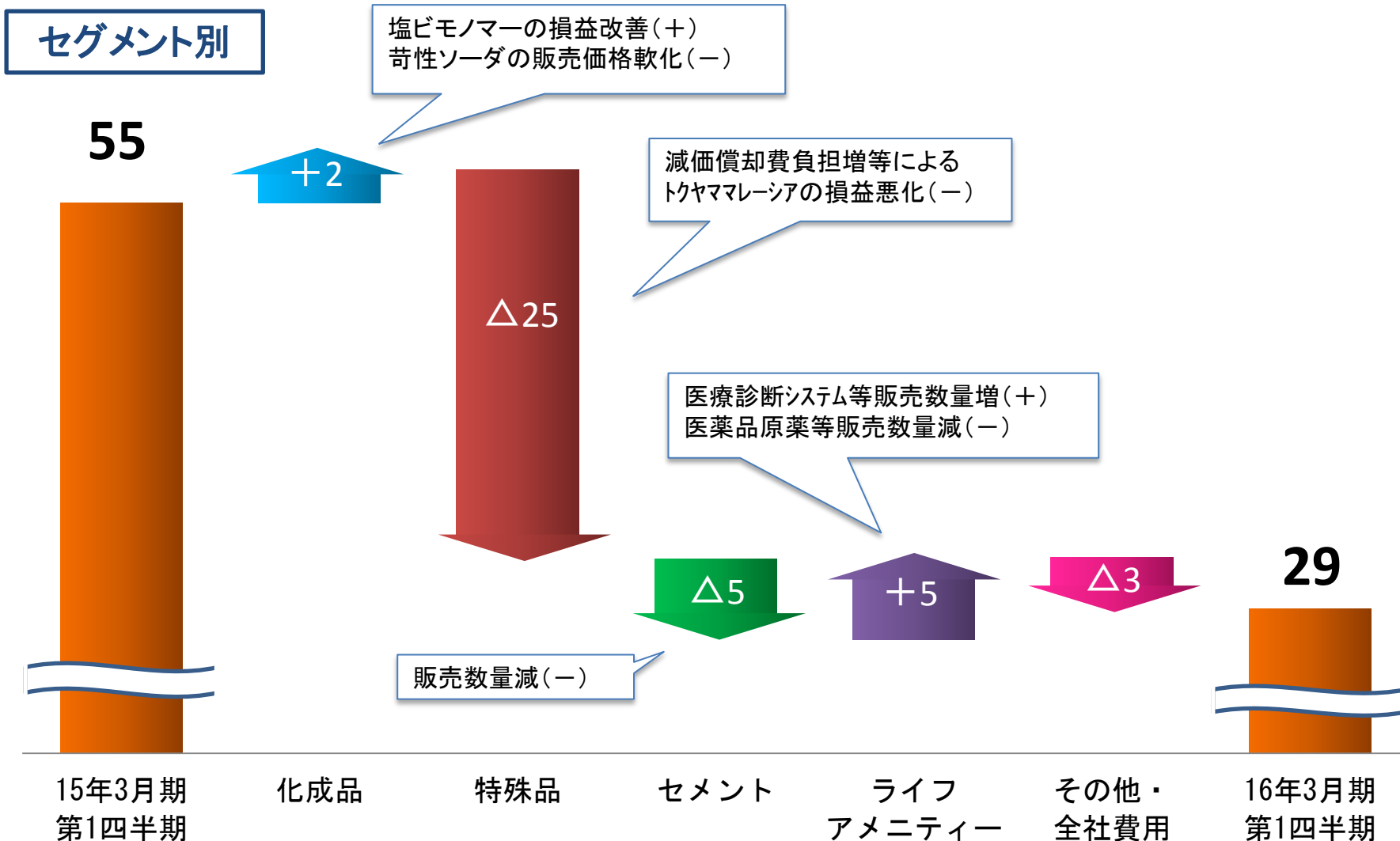
	2015年 3月末	2015年 6月末	増減	
			金額	%
資産合計	5,545	5,486	△58	△1
流動資産	2,439	2,391	△48	△2
有形固定資産	2,533	2,508	△24	△1
無形固定資産	97	90	△6	△7
投資その他の資産	474	495	+20	+4

	2015年 3月末	2015年 6月末	増減	
			金額	%
負債合計	3,850	3,773	△77	△2
流動負債	1,172	1,148	△24	△2
固定負債	2,677	2,624	△53	△2
純資産合計	1,694	1,713	+19	+1



## 2. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)



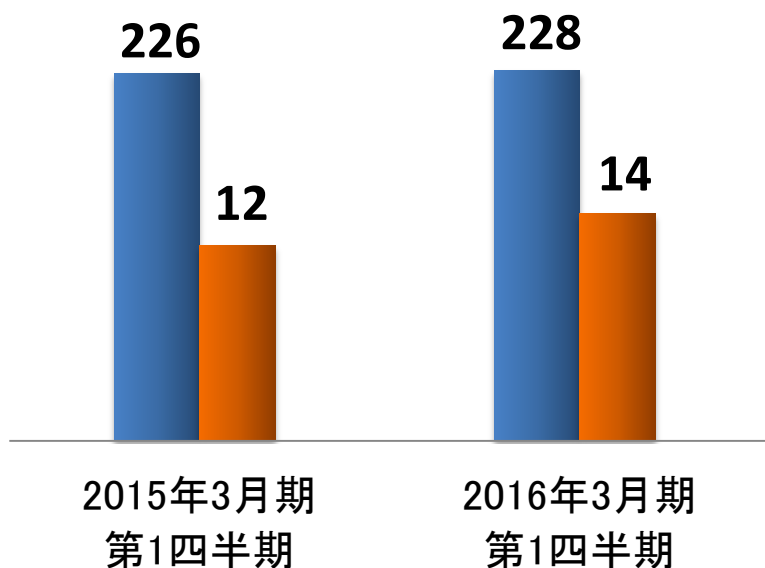
### 3. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

#### 化成品

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益  
(億円)



#### 定性情報

- (苛性ソーダ)
  - ・販売価格の軟化による減収
- (塩ビモノマー)
  - ・国産ナフサ価格の下落に伴う原料コストの減少による損益改善
- (塩ビ樹脂)
  - ・住宅着工減速による販売数量減
- (ソーダ灰・塩化カルシウム)
  - ・トクヤマ・セントラルソーダ営業開始による増収

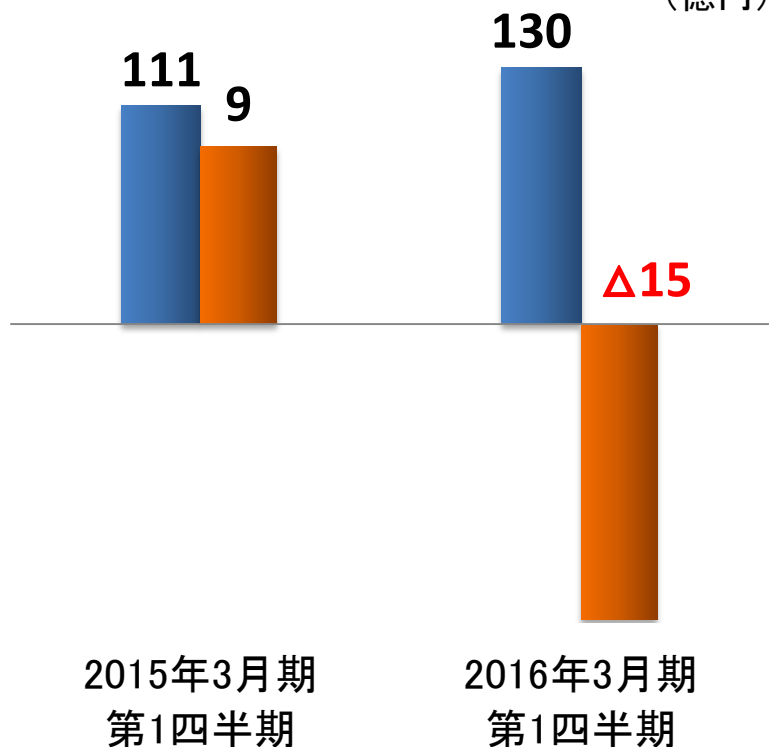
### 3. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

#### 特殊品

増収赤字転落

■ 売上高 ■ 営業利益  
(億円)



#### 定性情報

(半導体用多結晶シリコン)

- ・スマートフォンなど携帯端末の需要は堅調なもの、サプライチェーンの在庫調整により販売数量減

(太陽電池用多結晶シリコン)

- ・トクヤママレーシアからの出荷開始により、販売数量は増加したものの、減価償却費増により損益悪化

(乾式シリカ)

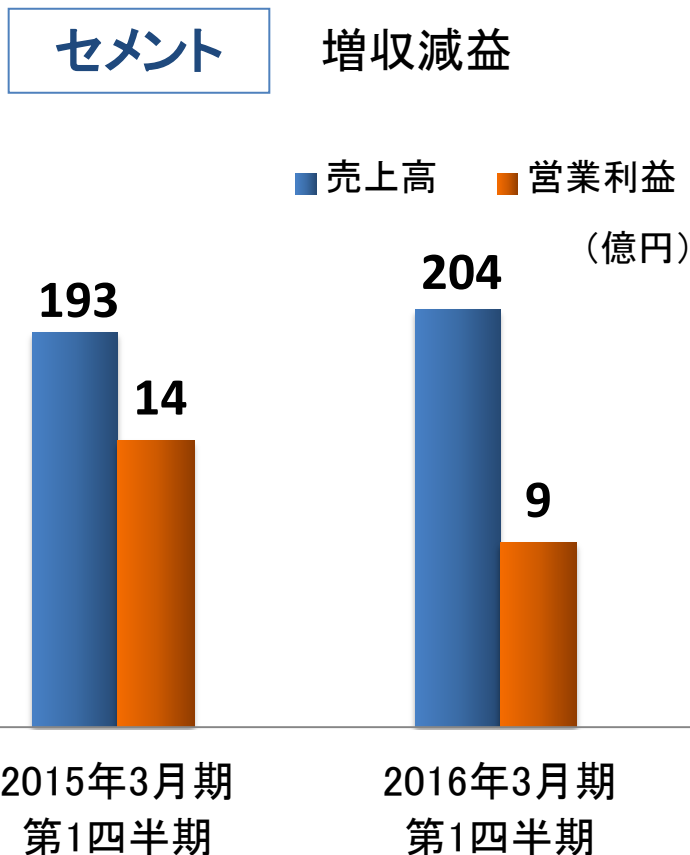
- ・半導体用研磨材向けを中心に販売数量増

(電子工業用高純度薬品)

- ・半導体及び液晶製造向けに販売が堅調に推移し増収

### 3. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)



#### 定性情報

(セメント)

- ・人手不足による工事遅れ等の影響で国内販売数量減
- ・広島トクヤマ生コン営業開始による増収

(資源環境事業)

- ・クリンカー生産量の減少に伴い廃棄物受入量減

### 3. セグメント別売上高／営業利益

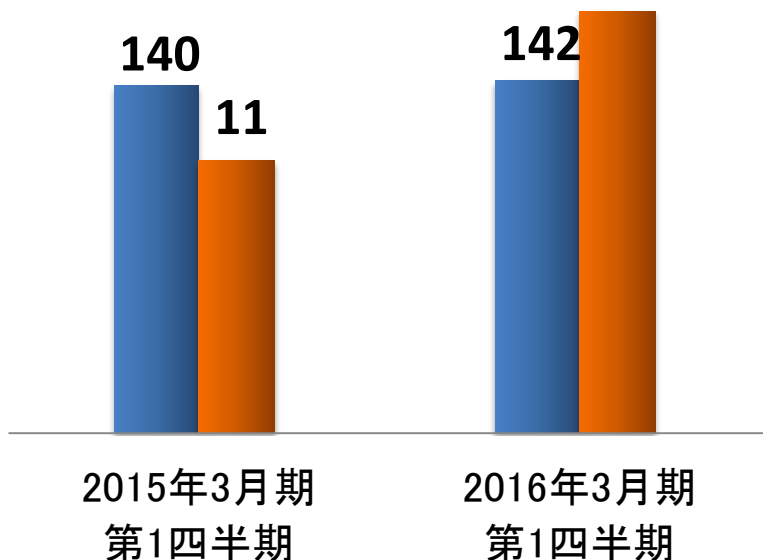
(前年同期比)

#### ライフアメニティー

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益

17 (億円)



#### 定性情報

(医薬品原薬)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量減

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・フォトクロミック材料の販売数量増

(微多孔質フィルム)

- ・紙おむつ向けの販売数量増

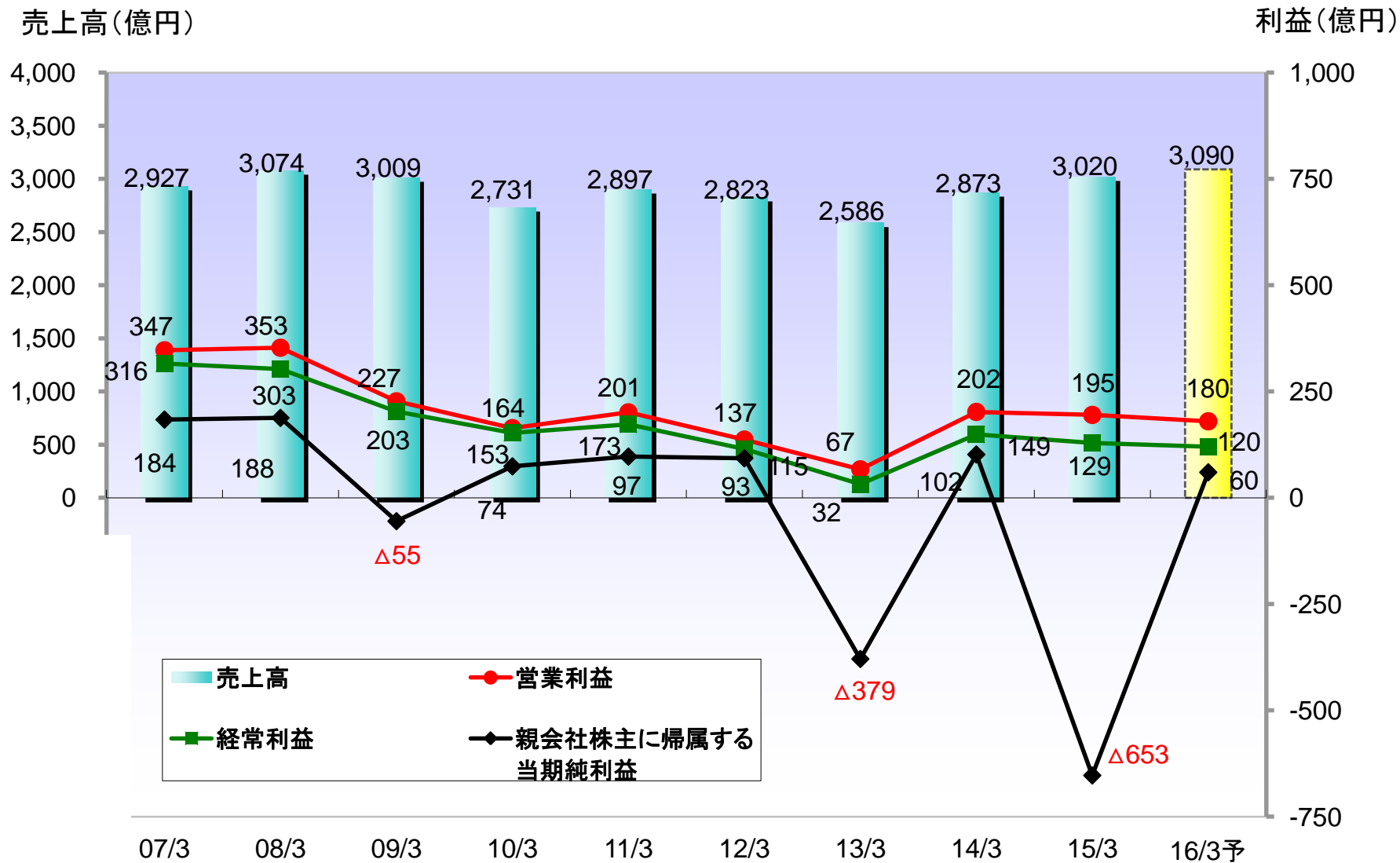
(ポリオレフィンフィルム)

- ・コンビニ向けを中心に販売数量増
- ・原料価格下落に伴う販売価格の軟化

(医療診断システム)

- ・血液検査向けに販売数量増

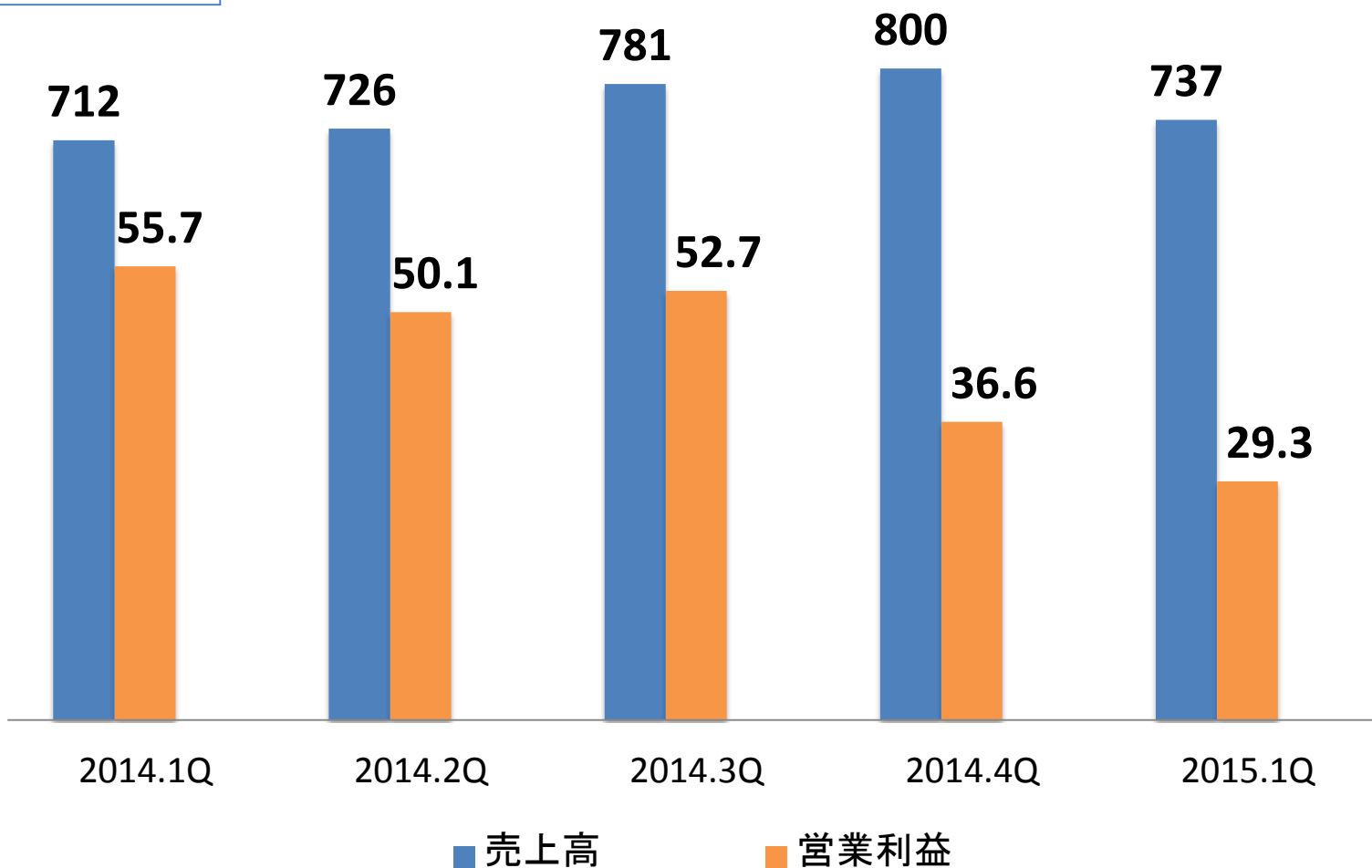
# 4. 業績推移 連結 (通期)



# 4. 業績推移 ( 四 半 期 )

連結

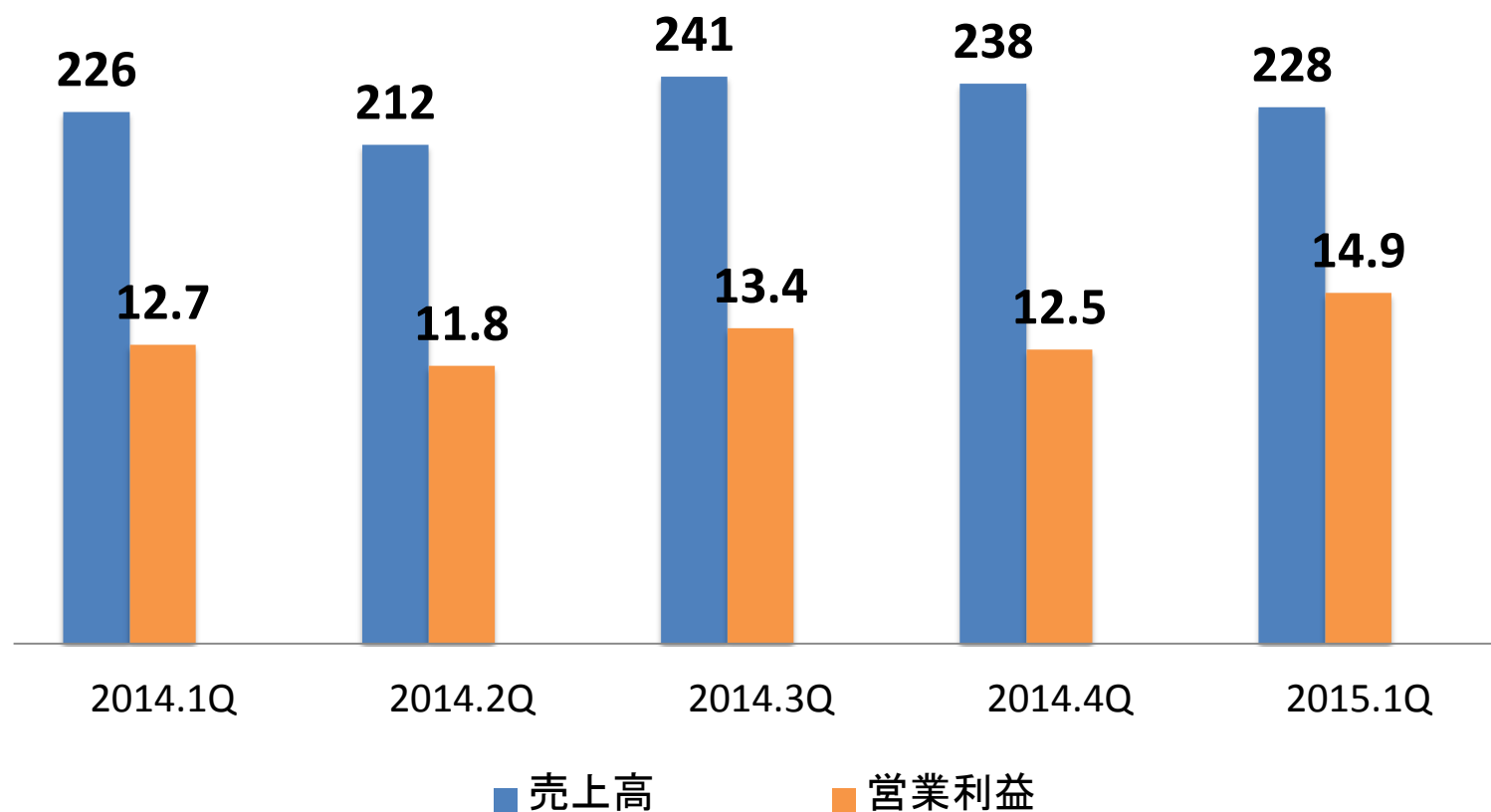
(億円)



# 4. 業績推移 ( 四 半 期 )

## 化成品

(億円)

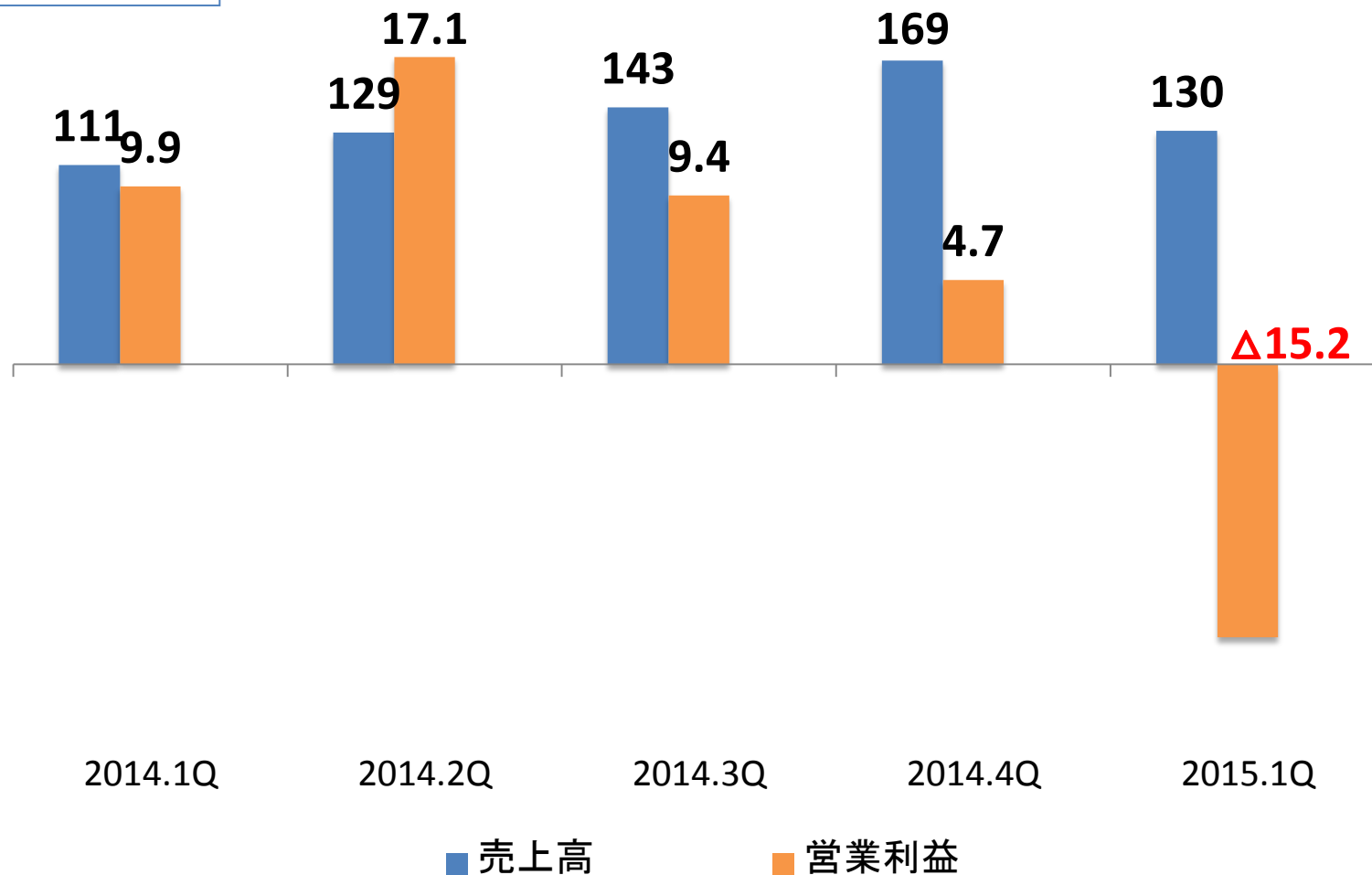




# 4. 業績推移 ( 四 半 期 )

## 特殊品

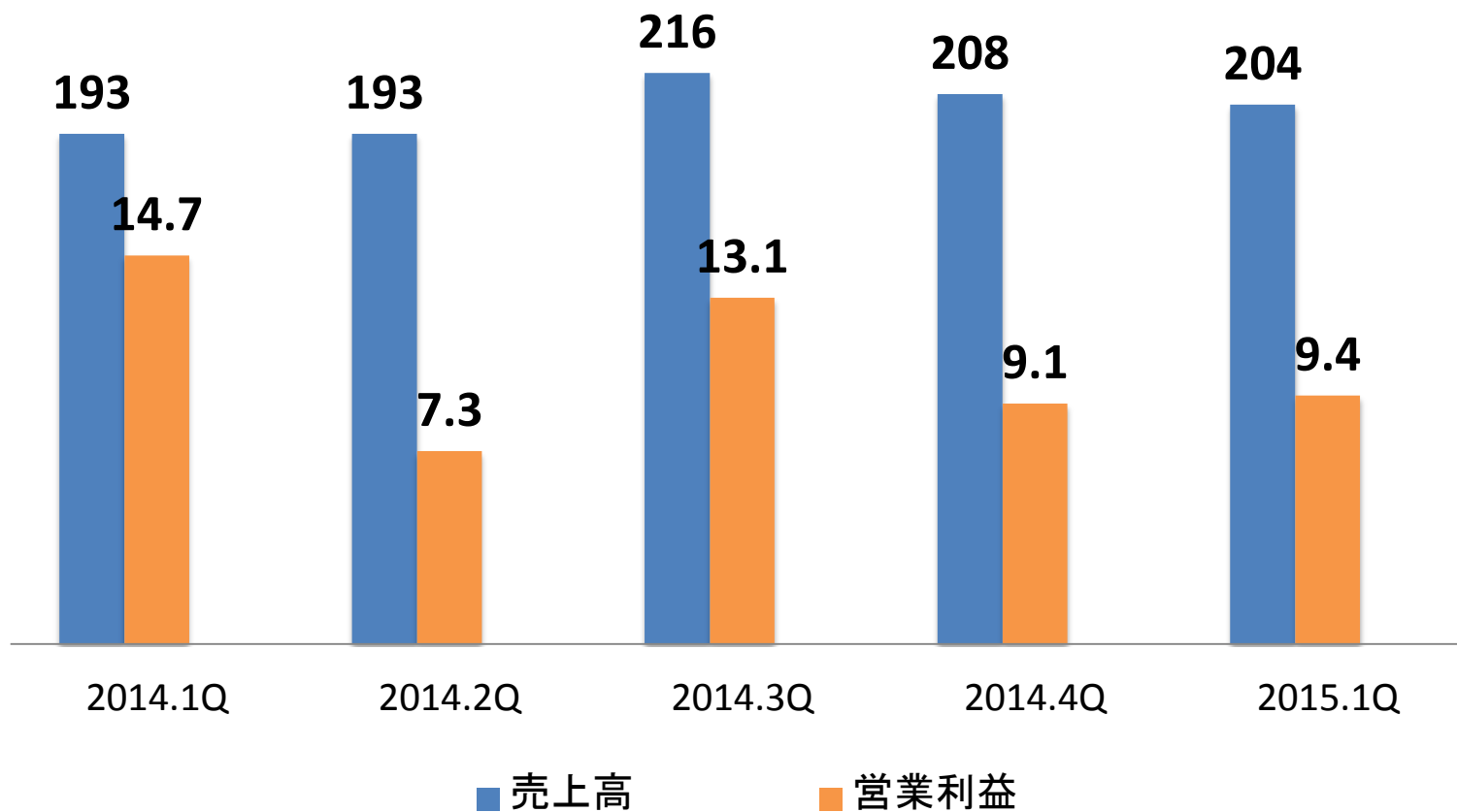
( 億 円 )



# 4. 業績推移 ( 四 半 期 )

## セメント

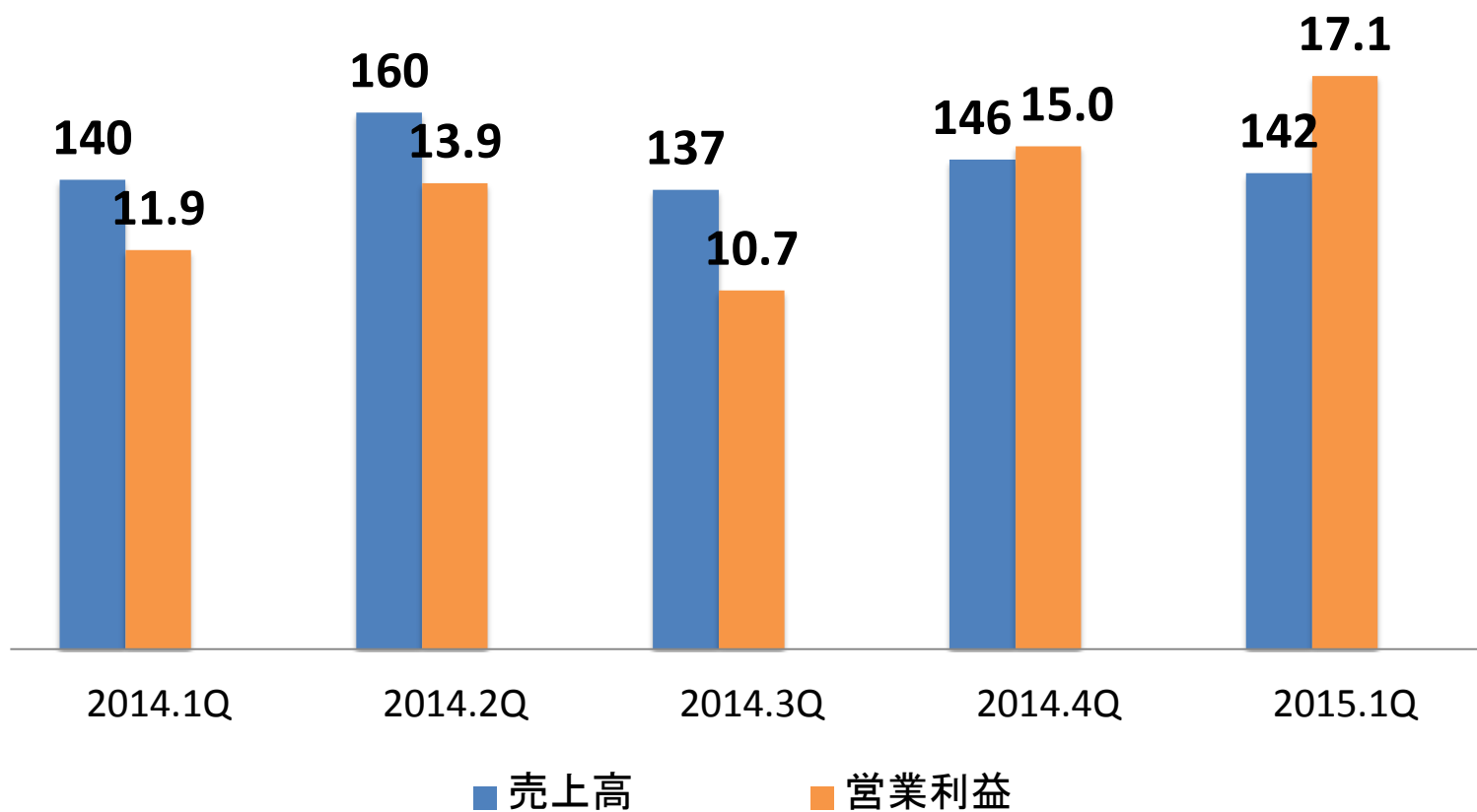
(億円)



## 4. 業績推移 ( 四 半 期 )

### ライフアメニティー

(億円)



4 補足資料

# 5. 業績予想修正(上期・下期)

連 結(前回予想比)

(億円)

	2016年3月期予想(4/30公表)			2016年3月期予想(7/31修正)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,510	1,610	3,120	1,480	1,610	3,090
営業利益	85	125	210	55	125	180
経常利益	60	80	140	25	95	120
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	50	80	5	55	60
1株当たり純利益(円)	8.62	14.38	23.00	1.44	15.81	17.25
為替(円/\$)	115	115	115	123	125	124
国産ナフサ価格 (円/kl)	46,000	46,000	46,000	50,300	51,500	50,900

4 補足資料

# 5. 業績予想修正(上期・下期)

## セグメント別(前回予想比)

(億円)

	2016年3月期予想(4/30公表)						2016年3月期予想(7/31修正)					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	420	20	450	40	870	60	440	20	460	40	900	60
特殊品	310	0	350	10	660	10	280	△25	370	15	650	△10
セメント	420	30	440	40	860	70	400	25	410	30	810	55
ライフアメニティー	290	25	290	30	580	55	290	30	290	30	580	60
その他	270	20	290	20	560	40	270	20	280	25	550	45
計	1,710	95	1,820	140	3,530	235	1,680	70	1,810	140	3,490	210
セグメント間 消去・ 全社費用	△200	△10	△210	△15	△410	△25	△200	△15	△200	△15	△400	△30
連結決算	1,510	85	1,610	125	3,120	210	1,480	55	1,610	125	3,090	180

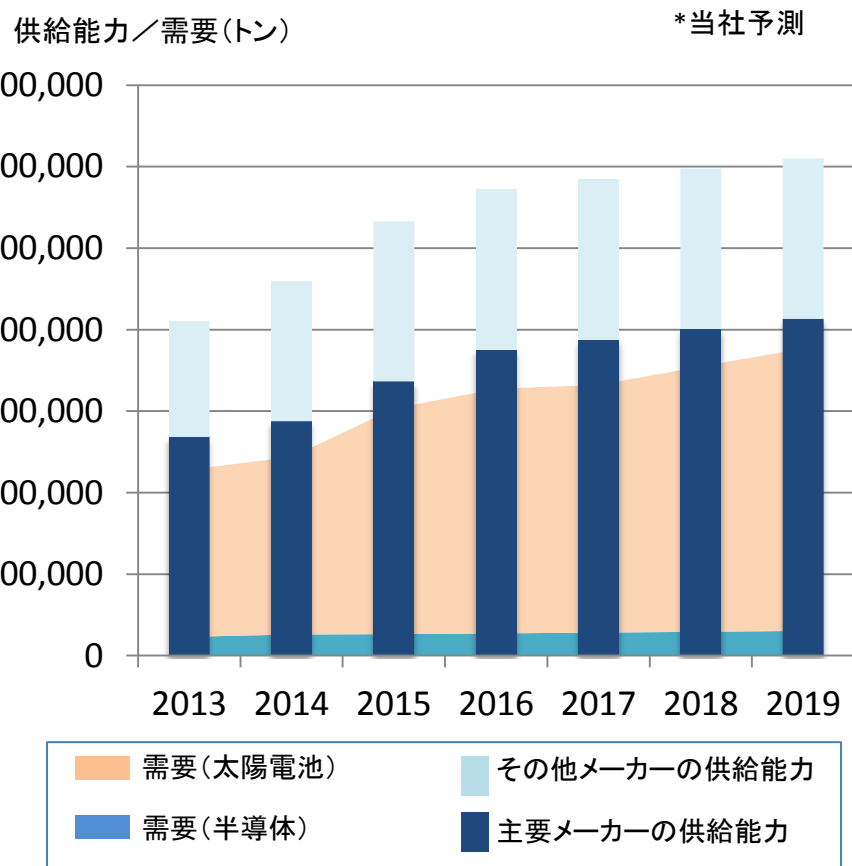
(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(参考)

トクヤマレーシア	59	△44	70	△36	129	△81	40	△69	56	△43	96	△112
----------	----	-----	----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	------

# 6. 多結晶シリコン市場動向

## 多結晶シリコンの需給予測



(注1) 主要メーカーは、IHSのTier1メーカー

(注2) 需要は、IHSを基に、当社予測

### 今後の見通し

#### <半導体向け需要>

◆スマートフォンを始めとするモバイル機器の需要拡大等で年率3-4%程度の増加が見込まれる

#### <太陽電池向け需要>

◆欧州を始めとする一部の国・地域で減速傾向が見られるものの、中国、米国、インドを始めとする多くの国・地域で積極的な導入政策等による成長が見込まれ、年率10%程度の需要拡大が見込まれる。

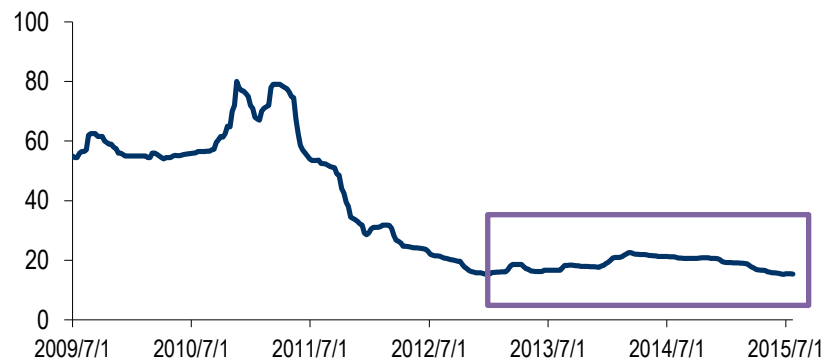
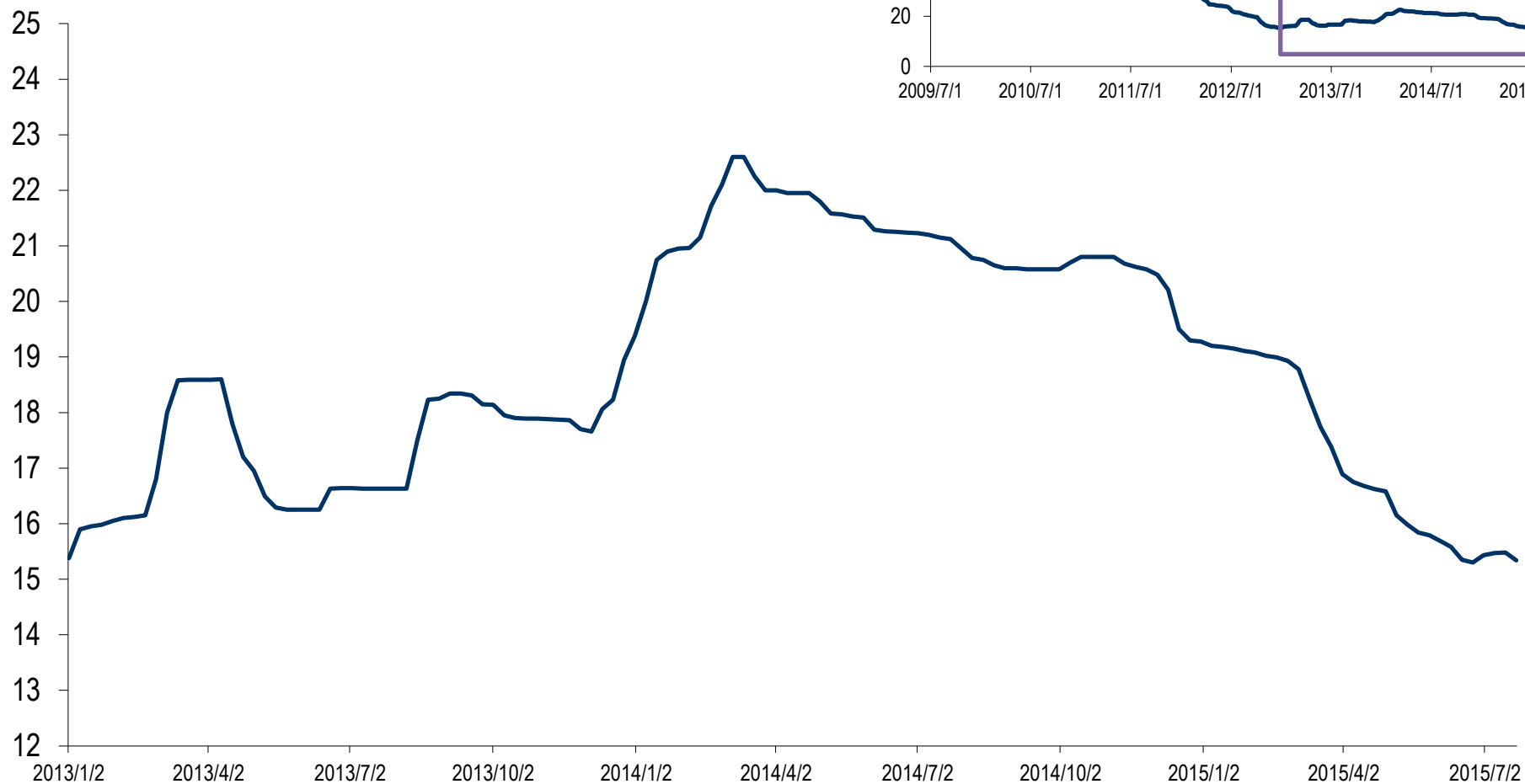
#### <供給サイド>

◆当面供給能力過剰の状況が続く。コスト競争力が生き残りのカギとなる

# 6. 多結晶シリコン市場動向

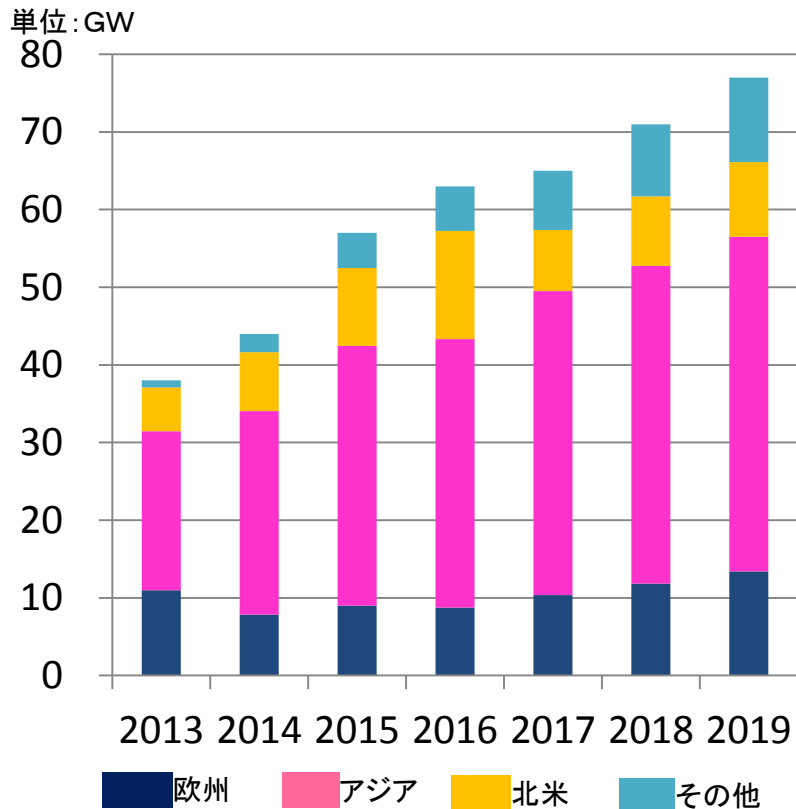
太陽電池用多結晶シリコンのスポット価格推移

(US\$/KG)



# 7. 太陽電池市場動向

地域別太陽電池導入量予測



(注)IHS Market Tracker (PV Integrated) Q2 2015のデータ等を基に当社予測

## 各国の状況

### <中国>

- ◆太陽光発電産業の健全な成長の為の政策を公表、2017年までの累積導入目標を70GWに設定
- ◆中国国家能源局は、2015年の太陽エネルギー導入目標を15GWから17.8GWに上方修正

### <インド>

- ◆モディ政権は2022年までに100GWの導入目標を表明

### <日本>

- ◆2012年7月の現行固定価格買取制度の導入以降、太陽光発電の導入量が急増
- ◆「長期エネルギー需給見通し」における、2030年度の望ましい電源構成は太陽光7%

### <米国>

- ◆様々な太陽光発電の普及政策が存在し、市場拡大を後押ししている。特に、大規模太陽光発電市場では、州レベルでの政策が市場を牽引

### <欧州>

- ◆政策による支援縮小等の影響により、2014年も太陽光発電市場はやや縮小した。2015年は4年ぶりに需要が回復すると期待され、今後は緩やかな成長トレンドに移行するとみられる。



# 8. 経営計画の変遷

## 100周年ビジョン「挑戦と変革」

- ・国際競争力の強化
- ・戦略的成長事業の強化

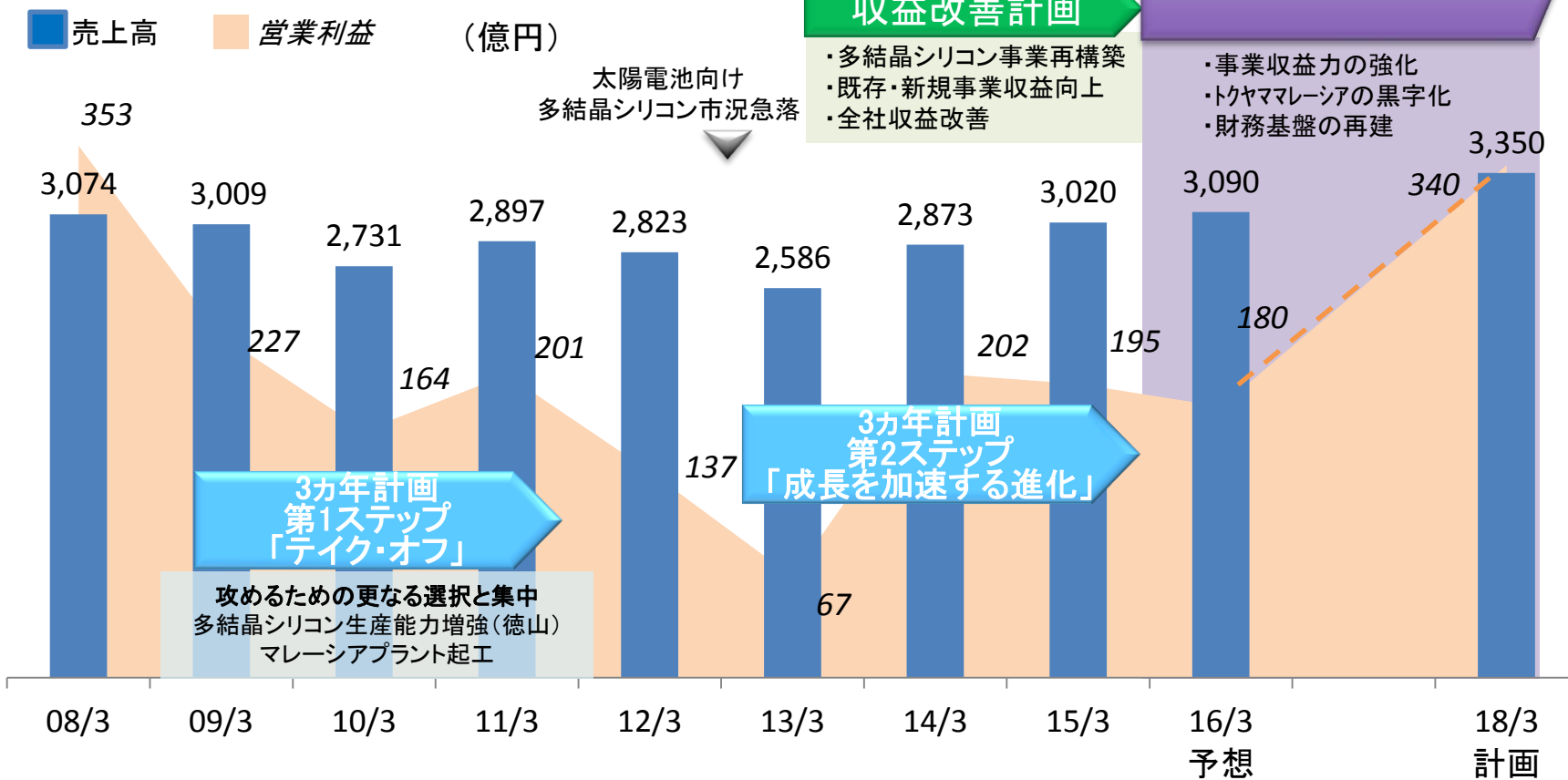
## 中期経営計画2017

### 収益改善計画

- ・多結晶シリコン事業再構築
- ・既存・新規事業収益向上
- ・全社収益改善

- ・事業収益力の強化
- ・トクヤマレーシアの黒字化
- ・財務基盤の再建

太陽電池向け  
多結晶シリコン市況急落



3カ年計画  
第1ステップ  
「テイク・オフ」  
攻めるための更なる選択と集中  
多結晶シリコン生産能力増強(徳山)  
マレーシアプラント起工

3カ年計画  
第2ステップ  
「成長を加速する進化」

# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**

